

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)

新入会【8月、9月】:

梶原 悟
藤野 房江
柳原 逸磨
小崎 義幸



寄付金【8月、9月】:

福岡早良ライオンズクラブ

【寄付品】

杉浦梨紗、早良第一交通㈱、
内野体育委員会、野芥ファイブ、
中武喜久代、樋口伊都、坂田艶子、
西村征子、アトリエ木下、神崎重和、
チョードリー・サクラ、馬場雄治、原田明、
ハートフィールドさかもと、松尾和男、
吉岡静雄

鬼木大明神 今月の一句

初めから光り輝いている人は誰一人いない。

自分の目標に向かって毎日ちょっとずつでも磨き鍛
錬し続けろ！

自分の限界すれすれまで挑戦し続けろ！

続けることに張り合いを感じ始めると人生の喜びにも
なる。

続けて行く過程、姿勢こそが人生の
すべてだ！

なにくそ！！という精神が欠かせない。

負けたら終りなのではない。辞めたら終りなの
だ！！

喝

福岡早良ライオンズクラブより寄付金贈呈

9月18日、福岡早良ライオンズクラブより
ご寄附をいただきました。このクラブは発足以来、
オイスカ西日本研修センターに対してご協力を
いただいてまいりました。この度クラブ解散に
伴いオイスカ西日本研修センターへ133,366円
のご寄付をいただきました。これまでの
ご支援ありがとうございました。(満川)



だいぶ涼しくなりました。風邪気味の人達がた
くさんになっています。急に寒くなりました。
寒さに負けないように気をつけましょう！



アテリナの私に言わせて」

10月の予定

- 3日 佐賀県推進協議会幹事会
- 6日 体験農園稲刈り
熊本暮らし人みずあかり
北九州エコライフステージ2018(～7日)
- 7日 脇山校区運動会
- 11日 オイスカインターナショナル国際理事会
(～12日)
- 12日 クレパス BBQ
九州電力総連研修会(～14日)
- 13日 脇山小学校稲刈り
脇山マルシェ
朝倉推進協議会役員会
- 14日 糸田町 80 周年行事
- 18日 研修旅行(～21日、19日四国の集い参加、
20日 MUFG 交流会)
- 22日 高田川部屋入所
- 24日 国際協力の日の集い(～25日)
- 28日 九電フォレストスクール、
佐賀料理交流会 & タイツアー報告会
脇山敬老会
- 29日 高田川部屋歓迎ちゃんこ祭り
- 30日 土俵開き

オイスカへの入会方法が変更になりました。具体的には年度
を四半期に分け、入会月により初年度会費額がかわります。こ
れにより入会のお勧めや入会もしやすくなりオイスカ活動へ参
加をいただけます。これからも更に活動の輪を広げていけるよう
努めてまいりますのでよろしくお願い致します。ご不明点が あり
ましたらお問い合わせください。(担当:満川、安東)

初年度会費 (H28年度より)

・ 特別個人会員 (年額一口)

入会月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
会費額	50,000円	37,500円	25,000円	12,500円

・ 特別法人会員 (年額一口)

入会月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
会費額	100,000円	75,000円	50,000円	25,000円

・ 維持個人会員 (年額一口)

入会月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
会費額	20,000円	15,000円	10,000円	5,000円

・ 維持法人会員 (年額一口)

入会月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
会費額	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円

※ 入会申込書の日付で会費額を決定する。

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

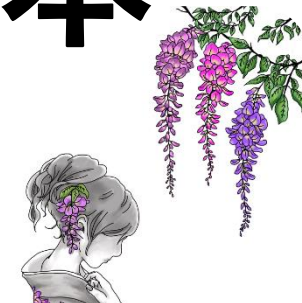
E-mail: oisca@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

第 660 号

平成 30 年 10 月号付録



←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！



オイスカ西日本支部 第15回運営委員会開催

9月27日(木)、運営委員の方9名が参加して、第15回目となる運営委員会が九州電力本社会議室にて開催
されました。

冒頭に運営委員長である田中委員長(九州電力総務部長)からの挨拶をいただき、オイスカ活動に対する積極的な
参加、協力への呼びかけをしていただきました。

会議の主な議題については、上期の活動報告並びに
下期の活動計画、そしてオイスカ活動の財政的な基盤
でありますオイスカ会員の維持拡大、並びに農業生産物
の販売促進などについて、現状における課題と今後の
対策について話がなされました。

会費収入が伸び悩む中で、各運営委員の皆様のネット
ワークを活かしながら、より強固な財政基盤を作ってい
けるように連携を深めていきたいと思います。

(豊田副所長)



運営委員会の様子

こらぼら Q でん稲刈り大会

9月29日(土)、九州電力主催の「こらぼら Q でん米作りプロジェクト」の稲刈り大会は、当日があいにくの雨で田
んぼでの稲刈りは実施出来ませんでした。室内でのイベントを参加者に呼び掛けたところ、40 名ほどの方がご参
加いただきました。

イベントの内容は、田んぼアートの見学から稲刈りをした後の脱穀、もみすり、精米などお米がどのような工程で
食卓に運ばれるのか、機械の実演を通して理解を深めてもらいました。

そして、食堂に移動しておむすびづくりと海外研修生との交流など、参加者が少なかった分、内容の濃いイベント
を実施することが出来ました。(豊田副所長)

参加者と研修生達の国の
紹介の様子



研修生達のおにぎり作り

第 23 回 佐賀ラググリーンの翼（オイスカ佐賀県推進協議会）

8月16日(木)～20日(月)まで第23回佐賀ラググリーンの翼としてタイ王国チェンライ県を10名で訪問しました。今回はオイスカタイ総局のアリ会長の指揮の下、スタッフの皆さんが我々の訪問を心から歓迎し受け入れてくださり、これまでの訪問先の中では初めてと思えるほど充実した植林活動ができました。あいにく天候には影響されましたが、各学校の子供たちも元気な笑顔で歓迎してくださり、計画通り植林もでき大変有り難い事です。

この度は、バンコク駐在員の春日智実さんや北部タイ事業担当の田野井智之さんの各地の案内や通訳まで期間中のリード役はお見事でした。更に北部タイ地域責任者のソンポンさんをはじめ、各スタッフの方達にも空港へのお見送りまでお世話頂き、全ての行程を楽しく過ごさせて頂きました事に参加の皆さん全員より感謝申し上げます。（オイスカ佐賀県推進協議会 島松孝夫会長）



子供達と植林をしました。



今回の参加メンバーと現地の人達との集合写真

学童保育スイミー・収穫と川遊び体験

8月1日(水)、福岡市西新にある「学童保育・スイミー」から、小学生、引率含めて25名程度の方が参加して、オイスカの農園でミニトマトや葉物野菜の収穫と川遊びを研修生と一緒に体験しました。

参加した子どもたちは市街地に住んでいるため、野菜の収穫や川遊びの体験はオイスカのイベントでしか味わえません。

従って、初参加の子ども達も含めてみんな大はしゃぎで楽しんでいました。特に川遊びでは、少し高いところから飛び込んだりカニを石の隙間から見つけたりと、思い思いに川遊びを満喫していました。（豊田副所長）



楽しく収穫体験



夏休み森のつみ木広場

今年も夏休みを利用して福岡市内の8カ所の留守家庭子ども会で約800人の生徒を対象に森のつみ木広場を実施しました。毎回、研修生も一緒に参加をして、環境教育と国際交流を同時に行う人気のプログラムになっています。

研修生は想像力豊かな子供の作るつみ木に驚きながらも一緒に背丈よりも高いタワーなどを完成させました。

来年も実施する予定ですので、多くのご依頼をお待ちしております。（安東）



技能実習先のご紹介

【有限会社大地企画】

大分市浜の市 1-3-7

☎097-533-2101

有限会社大地企画は平成11年より内装工事を中心に仕事をされており、会社内にはオイスカ大分県推進協議会の事務局も置き業務を行っております。一昨年前からは会社内に技能実習生をマレーシアから受け入れ技術指導を通して人材育成に力を入れております。現在ではアパート等の内装クロス張替えも手際よくできるようになり、会社内での評判はよく口数が少なく大人しい性格ですが社員の皆さんに慕われ日々技術をしっかり学んでいます。（満川）



マレーシア実習生ザイムルと
大地企画内田社長



内装クロス張り



出来上がった部屋

オイスカ大分県推進協議会
事務局：〒870-0002
大分市浜の市 1-3-7
(有)大地企画内
電話：097-533-2101
事務局長：内田 徳二

アトリエ木下オータムスクールバザー大会

9月11日、オイスカ会員企業のアトリエ木下九州地区オータムスクールがアトリエ木下志免中央店で行われました。午後のバザーコーナーではオイスカの農産物及び家政研修生のインタン、エルの手作りクッキーやココナッツ石鹸の加工品の販売を通して、社員のみなさんにお買い上げいただき交流をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。（満川）

社員さんとの記念撮影



久山マルシェ

9月16日、第1回久山マルシェが行われました。このイベントは海外研修生のお盆のホームスティ先でもある今任自動車を会場に行われ、研修生のお国のダンスのステージや農産物等の販売を通して、来場者の皆様へオイスカ PR 活動を行いました。マルシェ終了後は関係者の皆様と和やかな雰囲気の中、バーベキューをして交流させていただきました。ありがとうございました。(満川)



研修生との久山マルシェでのバザー



フィジーのメケを踊っている男性の研修生達

朝倉光陽高校交流会

8月7日に朝倉光陽高校の学生23名が来所し交流会を行いました。センター到着後ミニトマト、エンサイ、モロヘイヤ、ツルムラサキの収穫体験。制限時間15分という短い時間でしたが袋いっぱい収穫できました。収穫の後は料理作りで、ナシヤム(マレーシア)、モヒンガー(ミャンマー)、ピサンチョコラ(インドネシア)の3ヶ国の料理を作り、午後は研修生の国を紹介しました。研修生の話を聞いて日本の文化との違いを知ることが出来たのではないかと思います。この交流をきっかけにより一層海外に興味を持っていたら幸いです。今度は12月に私たちが光陽高校を訪問しますのでよろしくお願いします！

(園田)



朝倉光陽との料理交流会

松崎夏祭り参加

博多どんたくで研修生の舞台を見て、ぜひ夏祭りに出演してほしいと実行委員会の方から声がかかり、今年初めて福岡市東区の松崎の夏祭りに参加してきました。

8月18日、ステージはオイスカの定番フィジーのメケから始まり、今年のもう一つの定番であるインドネシアのダンス、5曲の音楽を組み合わせたメキシコのダンス、最後にパプアニューギニアの歌で夏祭りツアーの幕を閉じました。祭りはたくさんの人でにぎわっており、研修生のステージを見ながら一緒に踊っている人や手拍子する人も。この祭りをきっかけに多くの方々にオイスカの存在を知ってもらえたのではないかと思います。出演のお礼に出店で使えるチケットをいただき、かき氷やおでんなどを食べて今年最後の夏祭りを堪能しました。ステージに出演させていただきました。ありがとうございました。(園田)



研修生達が楽しく参加をしている様子



技能実習生帰国

須恵町にある有限会社三友金属様に3年間の技能実習生を行っていたブルハンとディックディック(インドネシア出身)が8月2日に帰国しました。会社としても初めての外国人技能実習生の受入れとあって当初は、受入側にも不安も多くあったようですが、彼らの明るい人柄と仕事に対するまじめさが社長を始め工場長、周りの従業員にも認められ、1年も経つ頃には十分な戦力として認められました。本人たちにとっては、日本の四季の移り変わりや習慣、言葉や生活面などセンターの研修生以上に多くの問題を抱えていたようですが、それも一つ一つ乗り越え最後には、会社を挙げて送別会を行っていただき帰国の際は社長様ご夫婦で空港へも見送りに来ていただきました。残念ながら会社の方針もあり技能実習生の受入れの継続はありませんが、彼らの日本での頑張りを感ずることができました。彼らの今後の活躍を期待します。

また、彼らだけでなく、その他の技能実習生もそれぞれの実習先で頑張っています。センターの研修生と共に今後とも変わらずの応援よろしく願いいたします。(彦坂課長)



ブルハン(帰国後すぐ結婚しました！)



ディックディック(帰国後センターで指導にあたっています。)

オイスカ熊本県推進協議会総会

9月28日オイスカ熊本県推進協議会の総会が熊本市内のホテルで行われました。総会では丸本文紀会長よりご挨拶をいただき、来賓として本部の中野顧問にご挨拶をいただきました。第1部はオイスカモンゴル交流事業報告として石原副会長はじめ会員企業のエイシア・フロンティアの社員よりプレゼンテーションをしていただきました。講演会ではオイスカモンゴル総局事務局長のニンジンさんよりモンゴルでのオイスカ活動報告や今後の計画について詳しく説明をいただきました。第2部の懇親会では海外研修生の自己紹介や帰国後の抱負を発表し、各国の踊りや歌などの披露をするなどして会場を盛り上げました。久しぶりの総会でしたが研修生達は熊本の会員さんと和やかな雰囲気の中、会話も弾み有意義な交流ができました。また講演会の中でモンゴル研修生OB達が帰国後に活躍している様子などについて会員さんは興味深く熱心に聞いておられました。今後は熊本県推進協議会との交流を更に深め、活動の輪が国内外へ活発に広がっていくことになります。(満川)



熊本県推進協議会の方々と
中野顧問とモンゴル総局の
ニンジンさんと研修生達の集合写真

田川飛翔塾(主催:田川広域連携プロジェクト推進会議)での交流会

8月16日～20日の4泊5日で福岡県田川地域(田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町)の中学2年生を対象に、将来さまざまな分野で活躍するリーダーを育成する「田川飛翔塾」が行われました。

今年度は32人の塾生が、16日から県立英彦山青年の家で合宿しながら、地域に縁のある各界の講師陣による講義やグループワークなどを通じて学びます。その中で18日にオイスカの研修生との交流が行われました。昨年は、研修生からの国の紹介のあと各国の料理づくりを行い交流を深めましたが、今年はもっと研修生の国、活動について知りたいとの要望で午前中の時間をフルに使って研修生との国の紹介や意見交換を行い、昼食を一緒に摂った後、添田町町長様から頂いたスイカをみんなで美味しく食べました。短い時間ではありましたが、お互いにとって有意義な時間となりました。

交流風景



朝倉産業視察

9月20日～21日にかけて、オイスカ朝倉推進協議会からの招待で産業視察に行ってきました。昨年は7月に起きた豪雨災害の影響で中止になりましたが、今回は被災地農業ボランティアもスケジュールに盛り込まれた形で研修が組まれました。

しかし、この2日間はあいにくの雨でボランティアを実施することが出来ず、その代わりに朝倉市とうきは市の道の駅の見学をしました。

それ以外の内容としては、朝倉市市長及び東峰村澁谷村長の表敬訪問、筑前町にあるごみ処理施設(サンポート)や藤井養蜂場の見学など盛りだくさんの内容で、研修生も初めて見る日本の産業技術に興味深く話を聞いていました。

特に朝倉市と東峰村の表敬訪問では、今回の豪雨災害における日本の山林保全、林業の在り方などについて説明を受け、改めて山を守っていくことの大切さを理解することが出来ました。

朝倉推進協議会の皆様、2日間お世話になりました。おかげさまで貴重な経験を行うことが出来ました。(豊田副所長)



東峰村の澁谷村長と研修生の東峰村の被害を説明している様子

インドネシア共和国独立73周年、 インドネシア・日本国国交樹立60周年 祝賀会

九州・インドネシア友好協会のパーティにお邪魔しました。国交樹立60周年にふさわしく日本人・インドネシア人の協力のもとスダガムランの演奏がありました。この日はオイスカ西日本センターインドネシア人の研修生たち(エエルさん、エルさん、シティさんとインタンさん)・廣瀬所長と参加しました。この機会はインドネシア・日本の国をつなげます。皆さんは素敵でした。(小野)



インドネシア共和国独立
祝賀会の様子



研修生の紹介コーナー ③

みなさん、こんにちは！！Augustine Borosiです。ニックネームはホギです。パプアニューギニアのブーゲンビルから来ました。環境保全型農業技術コースの研修生です。趣味はバレーボールです。8月8日に34歳になりました。日本へ来る前に養豚とココアファームिंगをしました。

？？ホギさんに聞いてみましょう😊

- パプアニューギニアのおすすめの場所は？
 - ➡ ロロアタアイランドリゾートです。ロロアタ島は小さな島で、細長い島であり、急斜面は島の長さでもあります。海が青で、サンゴと魚がきれいです。平和な休暇をすごしたい人は、是非パプアニューギニアへ来てください。
- 日本はどうですか？
 - ➡ 日本はとても素敵な国です。きれいな花がたくさんあります。そして日本人はとても親切と陽気で立派な人です。平和な国と非常に魅力的な生活があると思います。
- 好きな食べ物は？
 - ➡ 日本のカレーライスです。
- 好きな言葉？
 - ➡ 頑張って
おはようございます



ロロアタアイランド
リゾート

こんにちは～！フィジーから来ました。Niko Rokorabaleです。ニックネームはニコです。42歳です。農業指導の研修で来ています。2008年にオイスカ西日本研修センターの農業一般の研修生でした。日本へ来る前に自分の畑で農業をしました。

？？ニコさんに聞いてみましょう😊

- フィジーのおすすめの食べ物！
 - ➡ ロボです。フィジーで食べることができる多くの伝統的なフィジーの食べ物があります。ロボは、食べ物を熱い石に置き、葉と土で覆うことで、食べ物を調理する伝統的な方法です。ロボで調理された食べ物は非常に美味しいです。フィジーを訪れた場合は、ロボで調理した食べ物を試してみることをお勧めします。
- 日本はどうですか？
 - ➡ 日本は私の国とはまったく異なります。日本は技術的に進んでいます。これは非常に先進国です。日本には多くの農業機械があります。私は様々な農業機械に驚いています。
- 好きな言葉
 - ➡ 成功することを喜んでいる人に成功がもたらされます。



ロボ

体験農園だより

夏の猛暑が過ぎ去り、9 月に入ってからちょっと涼しくなったかと思うと、お彼岸を迎えるころには当たり前のように脇山の田んぼの畔に彼岸花が咲き誇りました。

季節の移り変わりが目まぐるしい中で、オイスカ農園では秋冬野菜(キャベツ、ブロッコリー、ニンジンなど)の種まきから定植の作業を研修生と行っています。

稲刈りの方とは言いますと、最初に「夢つくし」、次に「元氣つくし」、そして今では「ひのひかり」という品種の稲刈りをしています。

お米にとっては涼しく雨が多い夏よりも、今年みたいな日照りが続くような天候の方が実りは多いということで、若干白いお米が多いですが収穫量は例年以上の出来高になっています。

今年も美味しいお米ができましたので、皆さん是非「オイスカ米」をご堪能下さい。(豊田副所長)



忙しく種をまいている姿

「脇山はぐくみ会」受入れ

8 月 25 日(土)～26 日(日)にかけて、脇山育みネットの主催で小学生を中心とした宿泊研修が行われました。参加した小学生は全員で 61 名、そのうちの高学年のみが宿泊できるという事で 23 名の子どもたちが宿泊をしました。

25 日(土)は、開会式後からホールで研修生の国の言葉や国旗を描く作業をみんなで行いながら国の紹介をして交流を深め、そのあとに各国の料理作りということで 3 か国の料理作りを体験しました。

料理の出来栄はどれも素晴らしく、みんなとても美味しいと評判でした。

夜になってからは、お楽しみのキャンプファイヤーと高学年対象の「肝試し」が行われ、子どもたちの歓声や悲鳴が聞こえて大いに盛り上がりました。

今回初めてのイベントでしたが、保護者の方にも喜んでいただき、子どもたちにとっても夏休み最後の楽しい思い出をつくることができました。(豊田副所長)



参加者、関係者、研修生達の集合写真

OREC 祭

9月22日(土)に会員である株式会社オーレックの祭りのステージに出演させていただきました。出演前に工場見学をし、いつも研修で使用している機械の製造をロボットがしているところを見て研修生は驚いた様子でした。祭りでは機械の試乗や記念撮影、クイズや果物の重さを当てるゲームなどが行われており、研修生と一緒に果物の重さを当てるゲームに参加したのですが、肝心なクイズの答えの発表を聞き逃して出演の時間となりました。オイスカの出演前にはフラダンスチームが踊っておりみんな踊りに釘付けでした。11 月の収穫祭では今年も研修生がフラダンスを踊りますので楽しみにしててください！(園田)



フィジーのダンスを楽しく踊っている男性研修生

ふれあいの翼 2018 フィジーツアー開催

8 月 26 日～31 日にかけて、地元脇山地区からの参加者 5 名も含めて計 14 名で参加をしてきました。今回のツアーの大きな目玉のひとつとして、2016 年の OB 研修生ルケが帰国後に村の子どもたちにソフトボールを教えているということで、是非その子どもたちとソフトボールの親善試合をしたいという思いのもと、今回のツアーが開催されました。

ソフトボールの試合は、3日目の 8 月 28 日に OB 研修生ルケの村で開催され、当日はツアー一行が村に到着してから恒例のセブセブの儀式が小学校で執り行われ、村中の方から歓迎を受けました。

ソフトボールの試合は、果樹の木の記念植樹の後にグランドで行われ、ちょっとくたびれた侍ジャパンとフィジー選抜小学生チームが日ごろの練習の成果を出していました。

試合開始当初は、日本チームがリードをしていたのですが、徐々にボールに慣れてきたフィジーの子どもたちがヒットやホームランを打ち、結果 2 回を終わって 5 対 3 でフィジーチームの勝利となりました。

その他の活動として、サンゴの保全活動体験をマリンブルーのサンゴ礁の海の中で体験をしたり、マングローブの植林をしたりと盛りだくさんの活動を行いました。

また、最終日には OB 研修生との昼食会ということで、研修センター関係者含め 17 名が参加して楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ツアーの参加者からは、とにかくフィジーの子どもたちの眼の輝き、元気で明るい姿に感動しました。是非これからも野球の道具を提供するなど、できることは協力しながら、また機会があったらフィジーを訪問して自分で植えたマングローブを見てみたいと話をしていました。(豊田副所長)



ルケさんの村の子供達のソフトボールチーム



マングローブ植林

早良高校体育祭

9 月 8 日(土)に早良高校で体育祭が行われました。体育祭の数日前に慌てて大縄跳びの練習を開始するも、研修生全員で跳ぶのはなかなか難しく最高記録は10数回。前日の練習では1回しか跳べず、諦めモードのまま体育祭当日を迎えました。練習でできないことは本番でもできないという言葉をよく耳にしますがその言葉を覆す 32 回という新記録を出しました。(相手が高校生であろうと本気)次の競技は20kgの俵を誰が一番長く持てるか競うものです。ムスさん(マレーシア)、ボーヤンさん(モンゴル)、ダワさん(チベット)が参加しましたが、残念ながら高校生には勝てませんでした。ちなみにオイスカの中ではボーヤンさんが一番となりました。小雨が続いていたので午前中のプログラムのみとなり、最後に高校生の応援団を見て帰所しました。(園田)



20キロの俵を持っているボーヤンさんの姿



楽しくジャンプをしている研修生達

糸田宿泊研修（9月13日～14日）

1泊2日の宿泊研修は福岡県糸田町表敬訪問から始まり、糸田中学校、佐々木農園、英彦山青年の家宿泊。翌日には英彦山神社参拝、糸田小学校や道の駅で交流と踊りの披露をしました。

学校の交流会は両日とも2時間ほどでしたがレクレーションや国の紹介を通じてすぐに打ち解けて帰るころには「またここに来たいです。」と話す研修生も。

佐々木農園の見学では小松菜のパッキングの現場やハウスを見学させていただきました。7月の豪雨で浸水被害を受け、1カ月ほど出荷ができなかったそうですが、そんな風には見えないくらいきれいな小松菜が収穫を迎えていました。

宿泊先は英彦山青年の家にある木で造られたバンガローで、部屋の中は電気がなく質素なところでした。研修生は「こうゆうところに泊まるのは初めてです。」と楽しんでいました。

今年も糸田町町長をはじめ糸田町国際交流振興会皆様方と交流ができました。来年もまたよろしく願いいたします。



（園田）



早良小学校派遣事業（9月19日）

今年2回目となる早良小学校3年生との交流。今回は、子供たちが研修生の母国について話し合って決めた質問に答えてきました。例えば子供の時に何して遊んでいたの？給食はあるの？お化けや妖怪はいるの？等々。子供の頃はかくれんぼなどをして外で遊んでいましたが、最近の子どもはあまり外で遊ばなくなりました。給食はなくお弁当を持って行って友達とおかずを交換したり、家に帰って食べるところもあるそうです。子供達が一番楽しんでるのがお化けの話です、メキシコには35種類のお化けがいて、インドネシアとマレーシアには同じ名前のお化けがいるそうです。研修生が絵を描いたり写真を見せて熱心に説明していました。研修生の母国についての調べ学習は今後も数回行い、最後に発表会を行うそうです。（園田）



お化けの話をする
マリアさん

有田太鼓クラブ合宿 （受入れを通して感じたこと）

8月8日～9日にかけて、有田校区の太鼓クラブがセンターに来て合宿を行いました。

この太鼓クラブが合宿でセンターを利用するようになってから10年ぐらい経過しますが、受入れ開始当初、小学生で懸命に練習に励んでいた子どもが、今では大学に通いながら子どもたちに太鼓を教えていることを知りました。

時間の経過は早いと改めて感じると共に、年に1回の合宿ですがオイスカの研修生との触れ合いを通して様々なことを学んで成長した子どもたちが、立派な大人になっている姿を見て大変うれしく思いました。

「一期一会」研修生の日本での1年間をより有意義なものにするために、この言葉をしっかりと研修生にも伝えていきたいと思います。（豊田副所長）



【東京国際大学インターン生挨拶】

8月2日～9日、インターンシップとしてお世話になりました。農作業では研修生だけでなく、先生方も一緒に汗を流して作業していて、猛暑の中、誰一人弱音を吐くことなく一生懸命な姿を見てパワーをもらいました。

研修生の皆さんはとても愉快で、歌ったり踊ったり、ふるさとの話を聞かせていただいたり、言葉では言い表せないくらい貴重で楽しい1週間になりました。もっとオイスカの活動を皆に知ってほしいです。

次は3月に東京でお会いできるのを楽しみにしています。その前に11月の収穫祭に来れたらいいな～。

（東京国際大学 国際関係学部3年 西原 彩梨紗）



8月3日～10日、この度OISCA西日本研修センターにインターンシップとして滞在しておりました、東京国際大学の杉浦梨紗です。

私はこのインターンシップの1週間で、多くのことを経験し学び、忙しくも充実した日々を過ごしました。農作業はもちろん、地域の方々・子供たちとの交流、地域のイベント(夏祭りなど)への参加、と毎日毎日が新しいこと、身になること、楽しいことでいっぱいでした。

また、研修生たちとも母国について教えてもらったり、日本語を教えたり、一緒に遊んだり、とても仲良くなることが出来ました。私が彼らの国に行ったら案内をしてくれると言ってきて、とても嬉しかったです。

笑わない日はないほどセンターでの生活は毎日あたたかく、楽しいものでした。1週間という短い間でしたが、本当にありがとうございました！



日本の花火

西日本研修センターの研修生は毎年今宿で花火を見に行ってます。私は日本での研修は2年目ですので2回ぐらい今宿の花火を見ることが出来ました。そして浴衣を着て、見に行きました。1年目はセンターの浴衣を着ましたが今年は自分で作った浴衣を着ました。とてもうれしいです。浴衣を着て、花火を見て日本人と同じみたいです。インドネシアと日本の花火は全然違います。日本の花火はたくさんで、いろんな形があります。ハート♡の形と花の形が一番大好きです。とてもきれいです。こういう経験がなかなかないのでとても嬉しいです。ありがとうございました。



自分で作った
浴衣を着て
います。



今宿の花火

（家政科研修生
先輩のインターン）

福岡農業高校合宿

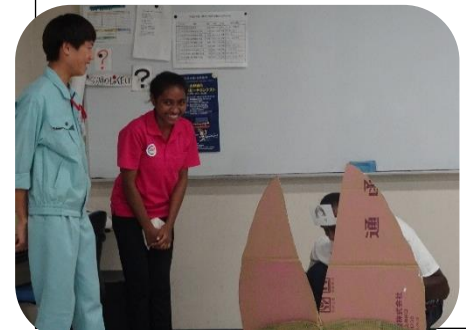
8月2日～3日にかけて、毎年恒例の福岡農業高校の食をテーマに活動を展開しているNPO法人「Eating Love Circle」の生徒11名と引率2名の計13名が宿泊研修に来ました。

研修の内容は、オイスカ研修生からの国の文化紹介や料理作り交流、キャンプファイヤーなど盛りだくさんの内容で実施されました。

特に高校生が主体となって練習をした昔ばなしの寸劇の発表は、研修生もかなり役にはまっていたみんなで大笑いしながら劇を楽しんでいました。

2日間という短い時間でしたが、お互いに親睦を深めることができ有意義な合宿研修となりました。

（豊田副所長）



桃太郎